

安全意識を高めるために、
「危険」を体感する。

安全 実習棟



中電工 研修所 安全実習棟のご紹介



体感実習 1日のスケジュール (定員:約20名)

場所	実習内容	所要時間
1F	展示スペースで、安全年表等の展示物の説明	約 5分
	講義室で、安全に関する事項及び体感実習概要の説明	約10分
	①運転・歩行能力診断 ②運転シミュレーター体験	約50分
	③視覚機能診断(ビジィくん) ④視野検査器	約40分
	休憩	約10分
	⑤ボルトの切断体験	約15分
	⑥落下物衝撃体験	約20分
	⑦機械装置挟まれ再現 ⑧回転機器巻き込まれ再現	約15分
	⑨⑩ワイヤー挟まれ体験/再現	約15分
	休憩(昼食等)	約60分
	⑪柱上ぶら下がり再現	約15分
	⑫墜落体験	約20分
	⑬ぶら下がり体験	約15分
	⑭スレート屋根踏み抜き体験	約15分
2F	⑮低圧感電体験	約20分
	⑯低圧計器短絡再現	約10分
	⑰低圧充電線短絡体験	約10分
	⑱引込線被覆損傷再現	約10分
	⑲低圧線間短絡再現	約10分
	休憩	約10分
	⑳高圧感電再現	約10分
	㉑絶縁破壊再現	約10分
	㉒高圧線間短絡再現	約10分
	㉓梯子の横(縦)すべり体験	約25分
㉔脚立の開き(横)倒れ体験	約25分	
㉕地上への落下再現	約15分	
㉖VR体験(墜落、転落、短絡)	約30分	
1F	講義室で、まとめ(説明)・質問受け、アンケート等	約10分

体感実習

体感実習コースは、1日・半日コースなど、ご希望時間に合わせて体感項目を選択することができます。

1日コースの場合は、
 ◎体験は全員が体験し、再現は全員が見学するものとします。
 ◎休憩(昼休憩、小休憩)を除き、教育所要時間は、7時間程度です。



お申込み・お問合せは、
www.chudenko.co.jp

株式会社 中電工 研修所 広島市安佐南区伴東六丁目3番1号
 Tel 082-848-9011 Fax 082-848-9020 Mail kenshusho@chudenko.co.jp

◎FaxまたはMailでお申し込みの場合は、会社名(学校名)、希望日時、参加人数、連絡先(住所・電話番号・代表者名)を所定用紙に記入の上、ご送付ください。



2階建ての実習棟内で、
実際に起こりうる様々な危険を
再現・体験します。

1F

工具や保護用具の重要性、
墜落の衝撃などを学習。

墜落やぶら下がりなど、柱上で起こりうる危険を中心に、
工具や安全帯等の正しい使い方を学習します。
また、エントランス左の展示スペースには安全年表と社史、殉職者名簿を展示し、
中電工が歩んできた安全への取り組みを紹介しています。
さらに、安全運転シミュレーターを用いた交通安全指導等も行います。

[展示スペース]

中電工の歩みと、これまで発生した事故を写真と記事で紹介。

[講義室]

約20人が収容できる講義室。体感実習の概要を説明します。

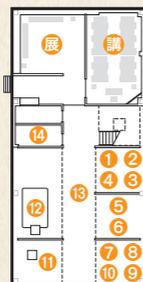
2F

実際の高圧・低圧充電線を用いた
短絡(ショート)等を再現。

労働災害のなかでも重大かつ危険な事故のひとつである、
「感電・短絡(ショート)」を実際の充電線を用いて
音、光、火の衝撃を実際に再現します。



全26種類に及ぶ 具体的な再現・体験学習で 災害事故の防止へ。

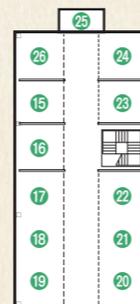


1F

【展示スペース】 中電工の歩みと、これまで発生した事故を写真と記事で紹介。

【講義室】 約20人が収容できる講義室。体感実習の概要を説明します。

- ①～④ [交通安全] ⑤ [ボルトの切断体験] ⑥ [落下物衝撃体験]
- ⑦ [機械装置挟まれ再現] ⑧ [回転機器巻き込まれ再現]
- ⑨⑩ [ワイヤー挟まれ体験/再現] ⑪ [柱上ぶら下がり再現] ⑫ [墜落体験]
- ⑬ [ぶら下がり体験] ⑭ [スレート屋根踏み抜き体験]



2F

- 15 [低圧感電体験] 16 [低圧計器短絡再現]
- 17 [低圧充電線路短絡体験] 18 [引込線被覆損傷再現]
- 19 [低圧線間短絡再現] 20 [高圧感電再現]
- 21 [絶縁破壊再現] 22 [高圧線間短絡再現]
- 23 [梯子の横(縦)すべり体験] 24 [脚立の開き(横)倒れ体験]
- 25 [地上への落下再現] 26 [VR体験(墜落、転落、短絡)]

